

# Q 総合窓口の導入とマイナンバー

## A 国の動向を注視する

山中 基充 議員



住民基本台帳カード

**質問一** 総合窓口への取り組みについて。

**二** プッシュ型サービスへの取り組みについて。

**三** マイナンバー導入への取り組みについて。

**答弁一（市長）** 市民サービス向上と業務効率化を図るため、ワンストップ化に向けた具体的な検討を行っている。

**二** 転出入などの異動の際に必要な手続きが分かる一覧表を作成し、該当者に渡している。

**三** 共通番号制度は、国民の給付と負担の公平性、明確性を確保することを目的としている。

市民の利点は、各種の申請時の書類の省略や手続きの簡素化、待ち時間の短縮が期待される。行政は、個人の特定が容易になり、情

報の迅速な抽出、分析、活用が可能となるほか、行政機関同士での情報連携が図られる。

現時点で、国から制度の詳細は示されていないが、今後の国の動向を注視しながら、具体的な運用について検討をしていく。

### ◎ その他の質問

**一** 窓口体制の整備について

**二** 鶴ヶ島プロジェクトとFM（ファシリティマネージメント）の現状について

**三** 教育の問題について

# Q

## 市の防災政策について

# A

## 先の東日本大震災の教訓に学ぶ

出雲敏太郎 議員

**質問一** 災害時の物資の備蓄状況は。

**二** 災害時の水確保や供給方法は。

**三** 災害時の電源の確保は。

**四** 防災ラジオの活用計画は。

**五** 今回の防災訓練での課題は。

**答弁一（市長）** 避難所運営で使用するアルファ化米、保存水、毛



防災訓練

布、マット、ポータブルトイレ、発電機などのほか、救護や救出に必要な救急箱、三角巾、担架、破壊工具セットなどがある。

**二** 市内小中学校7校の受水槽に約26万4000リットの飲料水を貯水できるよう整備している。また、坂戸、鶴ヶ島水道企業が給水所

を開設する。これらは、市が用意する非常用給水袋や避難者が持参したポリタンクなどで配給する。

また、優先的に飲料水の提供を受けられる協定を民間企業と結んでいる。

**三** 発電機は各小中学校に3台、市役所に1台、合計で40台を備蓄し、照明や煮炊きレンジの電源としての利用を想定している。

**四** 防災行政無線の難聴地域への補完対策として支給する。一般ラジオ放送や懐中電灯機能を備えているので、それらの活用もできる。

**五** 職員の休日、夜間の参集や避難所の安全確認に要する時間の検証が必要である。